記入例

（用紙　日本工業規格 A4 縦型）

履　歴　書

履　歴　書				
フ　リ　ガ　ナ 氏　　名	ｺｸ ﾀﾞｲ　ﾊﾅｺ 国大　華子	男・女（〇） ※	生年月日（年齢）	平成〇〇年〇月　〇日（満〇〇歳）
			国　籍※	記載は任意
現　住　所 電　話　番　号 e-mailｱﾄﾞﾚｽ	横浜市保土ケ谷区常盤台〇〇－△（〒〇〇〇－△△△△） 自宅　０４５（〇〇〇）〇〇〇〇　（携帯）　０９０（△△△△）□□□□ xxxx@aaa.bbb.ac.jp			

学　歴	
（和暦）年 月	事　項
平成〇〇年〇月	〇〇大学工学部△△学科 入学
平成〇〇年〇月	〇〇大学工学部△△学科 卒業（工学士）
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻修士課程入学
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻修士課程修了（工学修士）
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻博士課程入学
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻博士課程修了 博士（工学）（〇〇大学）学位論文題目「～～～と・・・・に関する相互作用の研究

職　歴		
（和暦）年 月	事　項	
平成〇〇年〇月	〇〇株式会社中央研究所〇〇部 研究員（平成〇〇年〇月まで）	
平成〇〇年〇月	〇〇株式会社中央研究所〇〇部 主任研究員（平成〇年〇月まで）	
平成〇〇年〇月	文部科学教官 〇〇大学講師工学部（平成〇〇年〇月まで）（〇〇論）	主な授業科目を一つ記入
平成〇〇年〇月	〇〇大学大学院工学研究科担当（現在に至る）（〇〇特論）	
平成〇〇年〇月	〇〇大学講師大学院工学研究科（平成〇〇年〇月まで）（△△特論）	
平成〇〇年〇月	〇〇大学講師大学院工学研究科（平成〇〇年〇月まで）（同上）	
平成〇〇年〇月	△△大学〇〇学部〇〇学科非常勤講師（現在に至る）（××論Ⅰ）	
令和〇年〇月	〇〇大学准教授大学院工学研究部（現在に至る）	
令和〇年〇月	〇〇大学大学院工学教育部担当（現在に至る）（××特論）	

学会及び社会における活動等	
現在所属している学会	日本〇〇学会，日本△△学会，□□学会，××県〇〇協会
（和暦）年 月	事　項
平成〇〇年〇月	日本〇〇学会 会員(現在に至る)
平成〇〇年〇月	××県〇〇協会 会員(現在に至る)
平成〇〇年〇月	日本△△学会 会員(現在に至る)
平成〇〇年〇月	日本××学会 会員(平成〇〇年〇月まで)
平成〇〇年〇月	××県〇〇協会 理事(平成〇〇年〇月まで)
平成〇〇年〇月	☆☆市☆☆委員会 委員(平成〇〇年〇月まで)
平成〇〇年〇月	□□学会 会員(現在に至る)
平成〇〇年〇月	××県〇〇協会 会長(平成〇〇年〇月まで

賞　罰	
（和暦）年 月	事　項
平成〇〇年〇月	(社)日本〇〇学会　論文賞（〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究）

現在の職務の状況（大学等教育歴）			
勤　務　先	職　名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況（担当授業科目、職務の内容等）
〇〇大学	准教授	〇〇研究院〇〇学専攻	（〇〇学府） ××概論，□□特別演習，□□特別講義 （〇〇学部） 〇〇演習Ⅱ，××学Ⅰ，卒業研究 （〇〇教育科目） 〇〇〇学

△△大学	非常勤講師	○○学部○○学科	週1日（××論Ⅰ、××論Ⅱ，◇◇学Ⅰ）

令和○年○○月○○日

上記の通り相違ありません。

氏名（自署）　*自署で氏名記載*

（注）
1.※「性別」「国籍」の記入は任意ですが、ダイバーシティ推進の観点から記入にご協力願います。
2.「職歴」と「現在の職務の状況」は、該当者のみ記入してください

記入例

（用紙　日本工業規格 A4 縦型）

教　育　研　究　業　績　書

令和〇年〇〇月〇〇日

氏名（自署）　*自署で氏名記載*

研　究　分　野	研　究　内　容　の　キ　ー　ワ　ー　ド
〇〇〇〇	××××××××××、××××××××××

教　育　上　の　能　力　に　関　す　る　事　項

事　　　　項	年 月 日	概　　　　要
1　教育方法の実践例 ①　〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月～平成〇年〇月	××
2　作成した教科書、教材 ①　〇〇〇〇〇〇〇〇 ②　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月～平成〇年〇月 平成〇年〇月〇日	××××××××××××××××××××××××××××××××××××× ×××××××××××××××××××××××××××
3　教育上の能力に関する大学等の評価 ①　〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月～平成〇年〇月	×××××××××××××××××××××××××××××××××××××
4　実務の経験を有する者についての特記事項 ①　〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月～平成〇年〇月	×××××××××××××××××××××××××××××××××××××
5　その他 ①　〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月～平成〇年〇月	×××××××××××××××××××××××××××××××××××××

職　務　上　の　実　績　に　関　す　る　事　項

事　　　　項	年 月 日	概　　　　要
1　資格・免許 ①　〇〇免許(免許番号 第12345号) ②　△△免許(免許番号 第6786号)	平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日	
2　特許等		なし
3　実務の経験を有する者についての特記事項 ①　〇〇株式会社〇〇部課長	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日	〇〇部の課長として，〇〇について調査し，その結果を〇〇に発表した。
4　外部資金獲得実績 ①　科学研究費〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ②　日本学術振興会〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日 平成〇〇年度	平成〇年：〇〇〇〇〇〇〇円 平成〇年：〇〇〇〇〇〇〇円 〇〇〇〇〇〇〇円
5　その他		なし

研　究　業　績　等　に　関　す　る　事　項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は発 表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概　　　　　要
（著書） 1　○○学基礎	共著	平成○年○ 月	○○書院	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○■　200文字程度の説明文　■○○○○○○○○○○○○○○○○○。 （吉田○○，鈴木○○，国大華子） 第３章「○○について」PP100～130までを担当。
2　解説○○論	共著	平成○年○ 月	△△出版	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○■　200文字程度の説明文　■○○○○○○○○○○○○○○○○○。 （国大華子，大久保○○） PP60～69までを担当
（学術論文） 〈学位論文〉 1　○○○における○○ （博士論文）	単著	平成○年○ 月	○○大学○○科○○専攻	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○■　200文字程度の説明文　■○○○○○○○○○○○○○○○○○。
〈査読付き論文〉 1 Interdisciplinary Research on Earth System and ○○○ （査読付）	共著	平成○年○ 月	Journal of ○○○ Research Vol.125 No.7 Page 56-78 (IP=4.612) Impact Factorがある場合は記述	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○■　200文字程度の説明文　■○○○○○○○○○○○○○○○○○。 (Kokudai,H.，Tanaka,A) ○○実験及び解析を担当
〈その他論文〉 1　○○○における○○	単著	平成○年○ 月	○○研究 52巻 12号 11-23ページ	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○■　200文字程度の説明文　■○○○○○○○○。 （国大華子，佐藤○○） 野外調査データ解析と考察を担当
（その他） 〈報告書〉 1 ○○の○○解析	単著	平成○年○ 月	○○省 ○○の評価に関する調査研究令和２年度成果報告書 45-123ページ	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○■　200文字程度の説明文　■○○○○○○○○○○○○○。 （国大華子，山本○○） 第４章の観測データ分析を担当。

「教育研究業績書」記入要領

１.**「研究分野」**及び**「研究内容のキーワード」**の欄について

①**「研究分野」**の欄には，科学研究費補助金応募の際に利用する「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて，研究分野の主なものを**1つ以上3つ以内**で記入してください。**「研究内容のキーワード」**の欄には，同表の細目を参考に，研究内容を表すキーワードを**1つ以上5つ以内**で記入してください。なお，分科レベルに該当がない場合は，表中のワードを参考に適宜記入してください。

② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（大学設置基準第１４条第３号及び第６号，第１５条第５号，第１６条第２号，第１６条の２第３号に該当する者）としての審査を希望する場合には，**「研究分野」**の欄に「○○に関する実務」と記入し，**「研究内容のキーワード」**の欄に職務内容を表すキーワードを５つ以内で記入してください。

２.**「教育上の能力に関する事項」**及び**「職務上の実績に関する事項」**の欄について

①**「事項」**の項には，各区分に該当する**担当予定科目に関連する**教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

②**「年月日」**の項には，当該事項に係る実施時期，発表時期，従事期間等を**和暦で**記入してください。

③**「概要」**の項には，当該事項に係る内容の概要のほか，当該活動における地位や役割，成果について、明確かつ簡潔に記入してください。

④**「教育上の能力に関する事項」**について

ア **「1 教育方法の実践例」**欄

高等教育機関において授業科目を担当している教員が，学生の理解促進のために工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入。

※①教えた機関（大学名等），②科目，③常勤・非常勤の別などの記載とともに，導入した独自の教育方法の実践例を記入

例 1 優れた教育方法の実践例，ICT を活用した授業実践例，学生の授業外における学習促進のための取り組み，講義内容の web 上での公開等

例 2 教育機関や社会人講座，企業研修などでの教育経験

イ **「2 作成した教科書，教材」**欄

作成した教科書，教材，講義で教科書として使用している著書，教材等の概要。（後

の研究業績の「著書，学術論文」との重複も可。その場合は，本項目の概要欄に（○頁「（番号と名称を記載）」を参照）と記すこと。）

ウ　**「3 教育上の能力に関する大学等の評価」**欄

教育上の能力に関する客観的評価を記入。教育上の取り組みに対して大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入。

例 1　大学での自己点検・評価の一環として，教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）

例 2　採用決定の際等における教育上の能力に関する評価

例 3　学生による授業評価，教員同士の相互評価等

例 4　学外の評価機関等が行った評価

例 5　上記以外で学長，学部長が行った評価(客観性を持ったものについて記載)等

エ　**「4 実務の経験を有する者についての特記事項」**欄

成果を上げた教育に関する取り組みを記入。

例 1　大学から受け入れた実習生に対する指導歴（教育・保育実習，企業実習等）

例 2　企業内教育，大学公開講座，社会教育講座の講師としての講義，シンポジウムにおける講演等の概要

例 3　その他，所属機関や関係機関等において行った講義，講習，職員・関係者等に対する指導，海外等における留学，調査研究経験等

オ　**「5 その他」**欄

１から４に該当するもの以外の事項について幅広く記載。

例 1　大学教育改善に関する団体等での活動の概要

例 2　教育実績に対する受賞歴等

⑤**「職務上の実績に関する事項」**について

ア　**「1 資格，免許」**欄

○ 建築士，技術士，教員等の資格で**<u>担当予定授業科目に関連するもの</u>**

イ　**「2 特許等」**欄

○ 特許，実用新案等で**<u>担当予定授業科目に関連するもの</u>**

ウ　**「3 実務の経験を有する者についての特記事項」**欄

履歴書の「職歴」欄に記載した事項を中心に，担当する教育内容等に関連する実績について、従事した期間、職務の内容（どのような職務について，どのような役割を果たしたか）及び成果，結果を記載。

○ 大学との共同研究

○ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績

○ 各種審議会・行政委員会等の委員

○ 行政機関における調査官等

○ 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表

○ 調査研究，留学，海外事情調査等

○ 上記を裏付ける報告書，手引書，マニュアル，雑誌等

エ **「4 外部資金獲得実績」**欄

・科研費：研究代表者として採択された研究課題について、種別、研究課題名、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。

・科研費以外の公的研究費：代表者として採択された、日本学術振興会、ＪＳＴ、ＮＥＤＯ、省庁・地方自治体などの公的研究費について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。

・その他民間機関からの研究費等：代表者として採択された、民間企業からの受託・共同研究費、民間財団からの助成等について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額を記入してください。

・業績の最後に合計数と、その内数としての科研費獲得件数、科研費以外の公的研究費獲得件数を記入してください。

オ **「5 その他」**欄

１から４に該当するもの以外の事項について幅広く記載。

例１　職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

例２　論文の引用実績等

３．**「研究業績に関する事項」**の欄について

①「研究業績等に関する事項」には，**書類の作成時において未発表のものは記入できません。**

②「著書，学術論文等の名称」の項について

ア 研究等に関連する業績を，「（著書）」，「（学術論文）」，「（その他）」の項目に適切に区分し，それぞれの年月日順（過去→現在）に，各業績を**発表順に通し番号**を付して記入してください。

イ 著書については，書名を記入してください。

ウ 学術論文については，国際学術雑誌，学会機関紙，研究報告，紀要等に学術論文として

発表したものの題名を記入してください。学位論文，査読付き論文，その他の論文に区分して記入してください。**学位論文**についてはその旨（修士論文，博士論文，など）明記し，**査読付きの論文**については，題名の後に**「（査読付）」**と記載してください。

エ その他については，総説，学会抄録，依頼原稿等にあっては当該記事のタイトルを， 報告発表，座談会，討論等にあっては当該テーマを記入してください。

③「単著・共著」の項には，当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」，著作者が複数いる場合には，監修，編集，編著，共著，部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。（一冊の本を数人で執筆した場合は，当該部分が単著であっても， 共著として記入してください。）

④「発行又は発表の年月」の項には，当該著書等の発行又は発表の年月を**和暦で**記入してください。

⑤「発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

ア 著書については，発行所を記入してください。

イ 学術論文等については，発表雑誌等の名称，巻・号，掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には，学会大会名，開催場所等を明記してください。

⑥「概要」の項について

ア 当該**著書・学術論文等の概要を200字程度**で記入してください。

イ 当該著書が**共著の場合**には，**本人の担当部分の章，節，題名，掲載ページ（例．pp. XX～XX）**を記入するとともに，**本人の氏名（下線を付すこと。）**を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。

ウ 当該学術論文が**共著の場合**には，**本人の担当した研究内容**を記入するとともに，**本人の氏名（下線を付すこと。）**を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。